

## 人口増加対策

平成 22 年度鳥取市人口 20 万 3000 人を目標に

# 人口増加＝住みよいまち



鳥取市は、合併して人口 20 万人を超える市となりました。

都市にとっての人口は、その都市が将来にわたってにぎわいを保ち、継続して発展を続けていくとともに、住民が安定した生活を営むための大切な要素と言えます。人口の減少が進むと、産業の担い手不足や伝統文化の衰退による地域コミュニティ力の低下、また、さまざまな分野における需要の縮小による産業活動の低迷など都市の活気がなくなっていくことが懸念されます。

このような中、本市は、市町村合併による都市の魅力向上、目前に迫った鳥取自動車道の開通、団塊の世代（2007 年問題）の受け入れといった新たな要因を踏まえ、竹内市長のマニフェストの一つである「人口が増加していく住みよいまちづくり」に強力に取り組み、平成 22 年度の人口 20 万 3000 人をめざします。

## 人口増加へ向けて

本市では、平成 18 年 5 月 26 日に「人口増加対策本部」を設置し、人口増加を図るための対策や施策を総合的に検討し、取り組み方針を取りまとめました。これは、「第 8 次鳥取市総合計画」や「鳥取市次世代育成行動計画」、「とっとり市元気プラン」など、既存の計画に掲げる施策を積極的に進めることを前提とし、人口増加という視点で新たな施策を「働きやすいまち」「定住しやすいまち」「産み育てやすいまち」「魅力のあるまち」という項目で体系化したものです。

## 取り組みは市民をあげて

人口増加対策は、雇用の創出、子育て支援、団塊の世代への取り組み、UJ ーターンの推進、若者定住の促進、健康寿命の延伸など広範な施策を相互に連携させながら総合的に展開していく必要があります。また、行政だけでなく、市民や民間事業者、NPO をはじめとする市民活動団体などさまざまな主体と連携して取り組むことも重要です。市民のみなさんには、人口増加に、そしてまちづくりに積極的に関心を持っていただき、ともに取り組んでいきたいと考えています。